

ジャズフェスタ

夜の動物園期間中の8月16日に、「ナイトZOOジャズフェスタinミルヴェー ー守ろう秋田のゼニタナゴ」が開催されました。この企画は、当園の塩曳潟に生息している日本固有の希少淡水魚であるゼニタナゴ（環境省指定絶滅危惧種）の保全の重要性を皆様に知って頂くためのキャンペーンイベントとして、また同時に多くの皆様に音楽を楽しむために開催されました。

ジャズ演奏は障害児者招待の部と一般来園者の部の二部構成で、それぞれ違うジャズ演奏家による多彩なプログラムとなりました。星空の下響き渡るジャズの調べに、会場のピクニック広場にいらした大勢のお客さんも演奏家もすっかり一体となる盛り上がりでした。最後の曲が終わる頃には心地よい音と涼しい風にいつまでも浸っていたい、名残惜しい心持ちとなるような素晴らしい演奏会となりました。

また当日、ゼニタナゴ保全活動のための寄付を募ったところ83,387円の寄付をいただきました。どうもありがとうございました。今後のゼニタナゴ保全活動のための資金として活用させていただきます。

動物園におけるジャズ演奏会開催は、日本の動物園では初の試みとのことです。今後も大森山動物園ミルヴェーは新しいことにどんどんチャレンジしていきたいと思っておりますので、皆様どうぞご期待ください!!

ジャズフェスタ実行委員会 事務局 阿部 杏子



計 報



自ら水浴びをして暑さを乗り切ろうとするトナカイ

トナカイ♂死亡

今年は例年になく暑さのため、暑さに弱い動物たちにとっては辛い夏でした。秋田市の最高気温が36℃を超えた翌日の8月18日、立派な角のトナカイのオスが熱中症のため倒れました。急いで体を冷やし体温を下げ、夕方には立てるほどに回復しましたが、翌日の朝、冷たくなって横たわっている姿が発見されました。誠に残念でなりません。

ベンガルトラ「マドンナ」死亡

9月14日メスのベンガルトラ「マドンナ」が老衰のため死亡しました。平成元年に1歳で大森山にやってきて約17年間、たくさんのお客さんに愛されてきました。その間、オスの寅二郎（H16.3死亡）との間に数頭の子を残し、子どもたちは他県の動物園に送られています。晩年はアムールトラのウィッキーと仲良く過ごしていましたが、8月下旬に体調を崩し治療の甲斐無く半月後に息をひきとりました。



在りし日のマドンナ(左)と寅二郎(右)